

# 叡智得留倶楽部 設立趣旨書

---

2014/05/17

持続可能な、文化的かつ平和な世界を目指して！

# 設立趣意書

1. 名称：叡智得留倶楽部

2. 使命

持続可能な、文化的かつ平和な世界を目指して！

3. 背景

現代社会は中東、東アジア、直近ではウクライナ等、政治的緊張が高まっています。我が国では集団的自衛権の議論が持ち上がり、International 国家間の戦争危機が高まりつつあります。更に、米国 9.11 テロ事件に代表されるように、テロ活動が世界で多発しています。

反面、世界的に情報通信技術 (ICT: Information and Communication Technology) による情報の瞬時共有化、格安航空会社 (LCC: Low Cost Carrier) の起業による低価格な大量の人・物の移動、国際標準の推進 (ISO ((International Organization for Standardization)), GS1 (Global Standard One))、国際結婚の拡大等、Global 全体化が進み、更に国際宇宙ステーション (ISS: International Space Station)、経済連携協定 (EPA: Economic Partnership Agreement)、自由貿易協定 (FTA: Free Trade Agreement) 環太平洋パートナーシップ協定 (TPP: Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreement) 等、政治レベル、民間レベルで全体的交流が活発化しています。

2011 (平成 23) 年 3 月 11 日、東日本大震災では大津波、更には大津波による原子力発電所の破壊と未曾有の大災害となり、世界的に自助・共助・公助、原子力発電・エネルギー問題、最貧国からの支援、等が注目され始めました。

これらは、人類が各国で選んだ政治家による国益を重視する政治活動、国際連合 (UC: United Nations) 等による国際政治活動、及び民間交流、民間経済活動、等の結果です。

人類個人に視点を移すと、日々報道される殺人事件、ストーカー事件、自殺等、以前に比べ増加しているようです。隣国では沈没する船から、我先に逃げる船長、違法行為による利潤の追求をする人等、個人の倫理観が問題になっています。これらは、その最たる事件の報道で、似たような状況は日本も漏れず世界各地で発生しています。

4. 問題提起

民間レベルでの交流が進む中、軍事的緊張の高まりは「国益」との名の基、国家の指導者自身はその緊張をあえて高めているようです。「国益」は国民の利益なのでしょうか？ 直近のウクライナ問題では、改めて「国家とは何か？」を我々に問いかけているのではないのでしょうか？ テロ活動の一因には経済格差、宗教、等があます。これらの状況をジャーナリスト達は命をかけ、取材報道していますが、この情報を受け

る人々のこれらへの関心、それに対する具体的活動が少ないように思われます。

そこで、このような状況への関心を高め、自身が置かれたグローバル社会環境、自身のコミュニティー生活環境をマクロ的視点からミクロ的視点でバランスよく見つめ、よりよいグローバル社会環境を整備し、自身のコミュニティー生活環境、自分自身の質を高める活動をより多くの仲間と活動することが求められているのではないのでしょうか？日本は逆行していませんか？

## 5. 望ましい姿

### 持続可能な、文化的かつ平和な世界を目指して！

先の3.11の大震災では、日本人のモラルが高く評価され、2020年東京オリンピック招致活動では「おもてなし」が注目されました。「おもてなし」は互いに思いやり助け合う気持ちが重要であることは誰でもが認めることと思います。

世界はほぼ自由経済になってきました。それは努力した者が報われる社会が良いとの世界の合意だと考えられます。その報われ方には、人類が同意できるある程度の節度が必要であり、共生の中での競争であるべきでしょう。

日本は平均寿命が延びましたが、健康寿命の観点では寝たきり、要介護者が増えています。反面、世界では経済、社会構造、故に幼くして命を終わらせている子供達が多くいます。この健康格差は是正すべきでしょう。

全体の関連事項を考慮しつつ、個別の解決策を全体と連携させ遂行すべきでしょう。

## 6. 活動実績

### ① D C P

『叡智得留倶楽部 第1期事業報告書』の通り

### ② 茶事「杓底一残水」

『叡智得留倶楽部 第1期事業報告書』の通り

## 7. 今後の取り組み

### ① 叡智得留倶楽部組織作り

『叡智得留倶楽部 第1期事業報告書』『第2期事業計画』参照

### ② 勉強会

持続可能性、文化的な生活、平和な世界、等

### ③ 活動

茶事「杓底一残水」、等

以上

2014(平成26)年5月17日

叡智得留倶楽部 設立代表者  
東京都世田谷区赤堤 1-32-17  
湯澤秀昭